

報道関係者各位

press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2021年11月30日

PRESS-21-39

本資料は、ノボ ノルディスク (デンマーク本社) が、11月18日に発表したプレスリリースを翻訳したもので、報道関係者の皆さまへ参考資料として提供するものです。内容や解釈については、正式言語である英語が優先されます。英文オリジナル版は、こちら (novonordisk.com) をご参照ください。

ノボ ノルディスク、RNA干渉研究技術プラットフォームを所有するDicerna社を買収

デンマーク・バウスヴェア、2021年11月18日 –ノボ ノルディスクは本日、Dicerna Pharmaceuticals (Dicerna社) を買収する正式契約を締結したと発表しました。Dicerna社が所有するリボ核酸 (RNA) 干渉プラットフォームの獲得は、ノボ ノルディスクの既存の研究技術プラットフォームへの戦略上の追加であり、ノボ ノルディスクの重点治療領域全体に応用可能な幅広い技術プラットフォームを活用するという戦略を後押しするものです。

Dicerna社はRNA干渉をベースとした治療法に取り組んでいる公開会社です。Dicerna社は、独自のGalXC™およびGalXC-Plus™ RNA干渉技術を用いて、疾患の原因となる遺伝子の発現を選択的に抑制する、RNA干渉をベースとした治療法を開発しています。Dicerna社のRNA干渉技術プラットフォームにより、肝細胞、肝外細胞および肝組織全体の肝細胞標的物質へのアクセスが可能になります。

ノボ ノルディスクは、2019年にDicerna社の特許技術であるGalXC™ RNA干渉プラットフォーム技術を利用したRNA干渉治療法を発見・開発するために、同社と共同開発を行うことについて合意しました。ノボ ノルディスクとDicerna社の提携には、30を超える肝細胞標的物質の探索が含まれており、非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)、2型糖尿病、肥満症、希少疾患などの疾患に対する複数の臨床治療薬候補を生み出せる可能性があります。ノボ ノルディスクは2022年に最初の標的物質の臨床開発を開始する予定です。

本契約に基づき、ノボ ノルディスクは、Dicerna社の発行済み全株式を1株当たり38.25米ドルで取得するための現金による株式公開買付けを行う予定で、株式時価総額は約33億米ドルとなる見込みです。

本取引によって、これまでに発表されているノボ ノルディスクの2021年の営業利益見通しや現在行っている自社株買いに影響はありません。この取引は主に借入により資金調達が行われます。

本買収は研究開発費の増加につながり、営業経費と無形資産償却の増加により2022年の営業利益の伸び率は3%程度と、マイナスの影響を与える見込みです。

ノボ ノルディスクのエグゼクティブ バイス プレジデント 兼 チーフ サイエンス オフィサーであるマーカス シンドラーは次のように述べています。「Dicerna社の本買収によって、ノボ ノルディスクのRNA干渉研究が加速し、RNA干渉技術の利用が拡大するでしょう。Dicerna社とのこれまでの協働の成功を足掛かりにし、同社が所有する最先端のRNA干渉の創薬エンジンおよび細胞内導入と、我々の疾患生物学への理解およびペプチドやタンパク質を介した組織標的における優れた能力を組み合わせることで、パイプラインを拡大し、糖尿病、肥満症、循環器疾患、NASHといった慢性疾患、そして内分泌疾患、出血性疾患のような希少疾患とともに生きる人々の人生を変えるようなプレジジョン・メディシン (精密医療) を提供できる可能性があります。」

Dicerna社の創設者であり、代表取締役社長 兼 CEO のダグラス M ファンブロー博士は次のように述べています。「ノボ ノルディスクと2年前に提携を開始して以来、当社とノボ ノルディスクのチームは、互いの能力、文化、経験に対する相互の敬意を基盤として、強力な信頼関係を構築してきました。Dicerna社のRNA干渉、オリゴヌクレオチド治療薬に関する専門知識および高度な技能を持つ従業員と、深刻な慢性疾患を治療するための医薬品の開発・販売におけるノボ ノルディスクの業界でのリーダーシップが融合されることで、患者さんとすべてのステークホルダーの利益のためにGalXC RNA干渉治療法を提供するという私たちのミッションを大いに加速させ、拡大する可能性を秘めています。」

買収契約の条件に基づき、ノボ ノルディスクは、Dicerna社の発行済み全株式を取得するために、株式公開買付けを行う予定です。本公開買付けの完了は、応募株式数が同社の発行済み株式数の過半数に達し、規制上の承認を取得すること、およびその他の慣習的な買収完了条件を満たすことを条件とします。株式公開買付けが完了した後、ノボ ノルディスクは買収した子会社をDicerna社に統合し、公開買付けとならなかった同社の普通株式は、公開買付けの1株当たりの株価と同額（米ドル）になります。本取引は2021年第4四半期に完了する見込みです。

本取引において、ノボ ノルディスクの財務アドバイザーはEvercore社、法務アドバイザーはDavis Polk & Wardwell LLPが務めています。

Dicerna社について

Dicerna™ Pharmaceuticals, Inc. (NASDAQ:DRNA) は、RNA干渉を利用して疾患の原因となる遺伝子の発現を選択的に抑制する医薬品を開発・販売するバイオ製薬企業です。同社は特許技術であるGalXC™およびGalXC-Plus™ RNA干渉技術を利用して、希少疾患や一般的な疾患の両方を治療する可能性を秘めたRNA干渉をベースとした治療法の開発に全力を注いでいます。Dicerna社は中心となる発見および臨床候補物質の同社内でのパイプラインに加えて、ノボ ノルディスク、ロシュ、イーライリリー、アレクシオン ファーマ、ベーリンガーインゲルハイム、アルナイラム ファーマシューティカルズ等の世界有数の製薬会社と協力関係を構築してきました。Dicerna社と提携企業との間で現在20以上の発見がなされており、循環器代謝疾患、ウイルス感染症、慢性肝疾患、補体介在性疾患、神経変性疾患、疼痛を中心とした前臨床、臨床プログラムを行っています。

Dicerna社は米国・マサチューセッツ州レキシントンに本社を置き、約320人の従業員を擁しています。詳細は、ウェブサイト（英語）をご確認ください（www.dicerna.com）。

RNA干渉およびGalXCプラットフォームについて

疾患の原因となる遺伝子の発現を抑制することで、GalXCプラットフォームはペプチド、タンパク質、モノクローナル抗体のような方法では治療に難渋する病態を治療できる可能性を秘めています。

産生・放出後のタンパク質を標的とする代わりに、RNA干渉はその遺伝子から作られたメッセンジャーRNA (mRNA) の特異的な分解を介して、その遺伝子自体の発現を抑制します。タンパク質を抑制しようとするのではなく、RNA干渉を利用するアプローチは、疾患の原因となるタンパク質の産生を抑制することが可能であり、疾患の発現に直接影響を及ぼします。

Dicerna社は当初から疾患の原因となる肝臓の遺伝子に取り組んでおり、革新的なRNA干渉技術を取り入れ、GalXC-PlusによるRNA干渉技術の新たな応用を探索し続けています。GalXC-Plusはプラットフォームの機能性を肝外細胞や他の組織まで広げ、プラットフォームの可能性を肝臓以外の複数領域の疾患の治療へと大きく拡大しています。



ノボ ノルディスクについて

ノボ ノルディスクは、1923 年創立のデンマークに本社を置く世界有数のヘルスケア企業です。私たちのパーパスは、変革を推進し、糖尿病および肥満症、血液系希少疾患、内分泌系希少疾患などのその他の深刻な慢性疾患を克服することです。その目的達成に向け、科学的革新を見出し、医薬品へのアクセスを拡大するとともに、病気の予防ならびに最終的には根治を目指して取り組んでいます。ノボ ノルディスクは現在 80 カ国に約 4 万 7,000 人の社員を擁し、製品は約 170 カ国で販売されています。日本法人のノボ ノルディスク ファーマ株式会社は 1980 年に設立されました。詳細はウェブサイトをご覧ください。(www.novonordisk.co.jp)